



JIC インフォメーション

第 150 号 2008 年 4 月 10 日

年 6 回 1・2・4・6・9・11 月の 10 日発行

1 部 500 円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル 7F

TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪オフィス: 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-1-22 フェアステージ大手前ビル 5F

TEL: 06-6944-2315 jicosaka@jic-web.co.jp

ロシア・旧ソ連
国際交流誌

JIC インフォメーションが 第 150 号を迎えました!

ご愛読
ありがとうございます!



<http://www.jic-web.co.jp>

JIC インフォメーション 150 号を記念して—

ロシアとあなたと「ミルチェな関係」・・・2-5P

JIC のロシア語講座 2008 年前期案内・・・6P

「ロシア語を勉強する君へ」徳永晴美 (上智大学)・・・7-9P

「ロシアの地方劇場めぐり」加藤裕理・・・10-12P

ペンパル情報・・・13P

ロシア文化フェスティバル 2008 IN JAPAN ご案内・・・14P

ロシア情報・JIC 情報・・・14-16P

JIC では、Jクラブ(JIC 友の会) 会員を募集しています。
年 6 回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

JIC インフォメーション第 150 号を記念して—

ロシアとあなたと「ミルチェな関係」

JIC インフォメーションの四半世紀

JIC インフォメーションは本号で第 150 号となりました。1984 年に第 1 号を出してから 24 年、思えばよく飽きもせず出し続けたものです。この間、多くの方々のお世話になり、叱られたり励まされたりしながら、もっぱらロシア関係を中心に交流活動が続けてきました。JIC インフォメーションの四半世紀を振り返りつつ、今後とも力の続く限り JIC の活動を継続していきたいと決意を新たにしているところです。

JIC インフォメーション第 1 号の発刊は 1984 年 10 月

トップの見出しは、「戦争と差別のない世界をめざして、あらゆる国の人々と国境を越えて手をつなごう」。わずか B5 版 4 ページの小さな冊子ですが、誕生したばかりの国際親善交流センター(JIC)が何を目指して活動するのか、高らかに宣言しています。活動の中心は当初からソ連(ロシア)との交流に重点が置かれており、日ソ関係シンポジウム、ウクライナ民族アンサンブル公演の案内やナホトカ・ピオニールキャンプの参加報告などが第 1 号の紙面を飾っていました。

バックナンバーをひもとくと、当時の名称は「国際親善交流センター・ニュース」となっており、第 2 号からはすぐに 20-30 ページにボリュームアップ、第 14 号(88 年 6 月)まで年 3-4 回のペースで発行しています。内容は、当時の国際情勢(米ソ冷戦)を反映して、平和と軍縮の問題、ソ連のゴルバチョフ改革、外国人留学生問題などの政治記事、国際情報が中心でした。

86 年の夏ごろからこの「ニュース」とは別に、B4 版 2 つ折のチラシを「JIC インフォメーション」の名前で出し始め、日常的な交流活動やソ連旅行の情報を補うようになります。89 年からは「ニュース」と「インフォメーション」を一本化。「JIC インフォメーション」の名前で、B5 版 4 ページの通信(ほぼ隔月刊。このころのチラシや通信はバックナンバーに数えていない)と A4 版 20-30 ページの情報誌(年 3-4 回発行)を織り交ぜて 93 年末頃まで 50 号近くを出しました。以上が、JIC インフォメーションの前半史です。

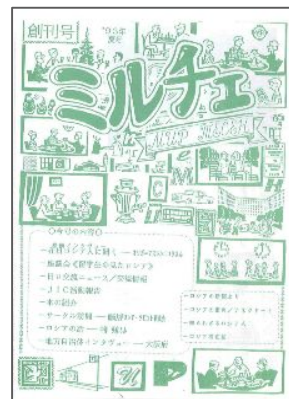
ロシア関係の若者を結びつけた特集版・ミルチェ

1993 年春に東京の若手スタッフたちが、一般にあまり知られていないロシアのいろいろな側面を特集して伝える独自の情報誌を出したいと提案。インフォメーションの特集版・「ミルチェ」(A4 版、年 4 回刊)を 8 月から創刊しました。それに刺激された大阪スタッフの手によって翌年 9 月からはミルチェ関西版も登場。そして、従来のインフォメーションとミル

チェ、ミルチェ関西版の 3 つを毎月順繰りに「JIC インフォメーション」として発行していくことになりました。1994 年春から 97 年末まではほぼ 4 年間、JIC インフォメーションは月刊(A4 版 16 ページ)で

発行され、一般のマスコミにはなかなか現れないユニークな(かなりオタクっぽい)ロシア情報を読者の皆さんにお届けし続けました。ミルチェは、ロシア語の МИР Тесен(世界はせまい)の略ですが、ロシア語を勉強している学生を中心にロシアに関心を持つ若い人たちの間で結構な人気を博し、ロシア関係者を一つの共通の世界に結び付ける役割を果たしたと思います。

しかし、JIC の旅行業務が拡大し日々スタッフの仕事が増えていく中で毎月インフォメーションを編集、発行し続けるのはさすがに大変で、スタッフ一同疲れ果てた結果、1998 年 1 月から年 6 回の発行に切り替えて今日に至っています。



JIC 国際親善交流センターの四半世紀

バックナンバーを繰れば、当時の懐かしい思い出が次々に浮かび上がってきます。この四半世紀の間に世界は随分と変わりました。それに連れて JIC の交流活動も内容を変えて広がっていきました。

政治的交流に重点を置いた前半

JIC が設立(82 年 12 月)されて活動を始めた 1980 年代前半は、「第二の冷戦」と呼ばれる厳しい米ソ対立の時代。米ソ冷戦下で冷え切った日ソ関係を何とか好転させようと、JIC の活動はまず第一に日本とソ連の政治対話、相互理解と友好促進のための活動に重点が置かれました。81 年以来、毎年夏にソ連沿海地方(ナホトカ)に『青年交流の船』を出し、子供交流や教育交流、法律家や企業家、政治家の視察交流ツアーを企画実施しました。また時宜に応じてソ連から学者や政治家を招き講演会やシンポジウムを開催しました。

80 年代の後半から 90 年代にかけては、ソ連のゴルバチョフ改革とその失速、ソ連崩壊の時期に重なります。もちろん私たちを含めて当時の誰も 91 年末にソ連が崩壊するなどとは想像すらできず、米ソ冷戦を終結させるためにゴルバチョフが繰り広げた「新思考外交」や、「公開性」(グラスノスチ)に依拠したソ連社会のペレストロイカ(政治経済改革)の行方を大いなる期待を持って見守っていました。この時期、JIC は、ペレストロイカに関わるセミナーやシンポジウムを精力的

に開催し、多くの書籍を出版しました。インフォメーションも当然これを反映して、論文や政治記事に多くの紙面が割かれていました。

旅行と留学を通じて日常的なロシア交流を模索

しかしこの時期は、そのような「政治的な活動」の一方で、もっと日常的な市民交流を広げるためにどうすればよいのか、模索の時期でもありました。86 年 4 月に JIC とは別に旅行会社(ジェーアイシー旅行センターの前身)を設立し旅行業に乗り出したこと、89 年 9 月からロシア語留学生の派遣を始めたことなどは、政治や理念の議論だけではなく、実生活に基づいてソ連(ロシア)と日本を結びつけていく仕事が大事だと、無意識のうちに模索していたからでしょうか。

80 年代後半から 90 年代にかけての印象的な活動は、ソ連船(クルーズ)の日本受け入れです。1987 年 10 月最初の日本一周クルーズを受け入れてからソ連崩壊までの 5 年間、毎年、小樽や東京、神戸、大阪、長崎、鹿児島、金沢、新潟などの港にソ連船を迎え入れ、観光旅行の手配とともに日本人学生とロシア人観光客の船上交流会を行いました。これは大変有意義で楽しく、かつ経済的利益に結びついた仕事でした。しかし、ソ連崩壊後の混乱の下で「楽しい交流船」はあつと言う間に「殺伐とした買出し船」に変わってしまいました。

インフォメーションを通じて「ミルチェな関係」を！

ソ連崩壊とそれに続くロシアの経済混乱の中で、それまでの交流活動の回路のほとんどは切断されてしまいました

が、JIC はロシア旅行と留学に活路を見出しました。「普通の人が誰でも気軽にロシアを知り、ロシア人を理解することができる機会をできるだけ多く提供したい」と考えると、どうしても語学学習や旅行に行き着かざるを得なかったのです。けれども素人の悲しさ。旅行客を集めるにも方法が分かりません。まして当時のロシア人気は最悪。「ええい、とにかくロシアに関心を持ってくれる人を増やさなければ」と各種の交流イベント(ロシア料理会やロシア語講座など)を開催し、その延長としてロシアへの個人旅行、ホームステイ、ロシア語留学の拡大に取り組みました。このような問題意識の当然の帰結として、「もっとロシアに親しめる情報誌がほしい」となって、インフォメーション特集版・ミルチェが誕生したのです。

したがって、94 年からミルチェやインフォメーションを毎月出し続けていた数年間は、JIC にとってはいろいろな意味で一番苦しい時期ではあったのですが、現在の旅行と留学、ロシア語講座を中心とした JIC 活動の基盤をしっかりと作ってくれた時期でもあったのだと思います。

インフォメーションを出し続けてきたおかげで、随分たくさんの人たちと知り合いになることができました。そしてインフォメーションは随分たくさん「隠れた JIC ファン」を作ってくれたと思います。

私たちはこれからも JIC インフォメーションを通じてロシアに関わる人の輪を広げていきます。お互いに「МИР Тебе»と言い合いながら、知り合いの数を広げていきましょう。

国際親善交流センター副会長 伏田 昌義

祝！ JIC インフォメーション 150 号

親愛なる皆さん！ JIC インフォメーション読者の皆さん！

国際親善交流センター(JIC)創立 25 周年と、JIC インフォメーションの通算 150 号を心よりお祝い申し上げます。

すでに四半世紀にわたり、貴誌はロシアの古い歴史、この上なく豊かな文化、科学技術の成果、またロシアの現代生活のさまざまな側面について、興味深い情報を送り続けてきました。特筆すべきは、このインフォメーションの主な読者層が、ロシア語を学んでいる学生やロシアに興味を持っている日本の若者たちだということです。貴誌の多彩で面白い情報のおかげで、何千人もの若者たちがロシア旅行や留学に出かけ、ロシア人とその生活、文化をさらによく知り、理解して帰国しています。

ロシア連邦外務省付属ロシア国際文化科学協力センターは、国際親善交流センター(JIC)と長年に及ぶ実り多い協力関係で結ばれています。私たちは毎年多くの面白くて有益な行事を共催してきました。ロシア大使館を大学や高校でロシア語を学んでいる学生や市民の皆さんに開放

して行っている「ロシアン・フェスタ」は、昨年で 12 回目を数えました。しかも 2007 年のフェスティバルはプーチン・ロシア大統領によって提唱された“世界におけるロシア語年”の最も華やかな行事の一つとなりました。



ロシア国際文化科学協力センター駐在代表

在日ロシア連邦大使館参事官

レオニード・ガムザ

ガムザ氏は今春、9 年間の東京駐在勤務を終えてモスクワに帰任される予定です。同氏の今後のご活躍をお祈りします。



～次ページへ続く～

『JIC インフォメーション』第 1 号の刊行が 1984 年であったことを知って、感慨深いものがあります。私たちの日ロ(日ソ)極東学術交流会がウラジオストクなどソ連極東地域の研究者と学術シンポジウムを始めたのも同じ年でした。それ以後、毎年ロシアと関西で交互にシンポジウムを開き、今年の秋で 24 回目を迎えます。

1984 年はソ連でゴルバチョフ書記長が就任する 1 年前のことです。当時、ロシア極東の研究者たちはモスクワで外国行きのパスポートを受け取る必要あり、極東からモスクワ・東京・関西という大旅行をしてやって来ました。一方、私たちは日本海を船でナホトカに渡りましたが、ウラジオストクは閉鎖都市であったため、主にナホトカとハバロフスクがシンポジウムの会場でした。

そしてこれらの過程で、さまざまな「無理難題」が降りかかるなか、JIC の皆さんには大変お世話になりました。また、私たちの学術交流の「片棒を担いで」もらったことも度々ありました。そのような歴史の経験を生かして、現在、『JIC インフォメーション』が幅広い交流を支えるメディアとなっているのだと思います。

今後のさらなる活躍を期待しています。

**大阪経済法科大学学長
大阪日ロ協会理事**

藤本 和貴夫

『継続は愛なり』

ロシア。その不可思議な国に惹かれる人は、意外に少なくない。しかし、その度し難いほどに豊かなロシア語と、単純とはいいいがたい国民性。そして、個性的な政治指導者たち。この国と付き合い続けることは決して容易ではない。

ソビエトの崩壊を明確に予言できた人がいなかったように、98 年の「国家破綻」から、これほど早く、「大国復活」を遂げることを予測した人もいなかった。2001 年以降の劇的なまでの「欧米接近」がこれほど急速に冷え込むと予言した人も少ない。

そんなロシアと関わりを持ち続ける素養は何か。それは「愛」だろう。

24 年間にわたって書き続けた本誌がついに 150 号を重ねるという。良き時代も、悪しき時代も、常に暖かい目で、ロシアとの交流を考え続けてこられた伏田さんはじめ制作者の皆さんの取り組みは驚愕に値する。不屈の愛と、その愛にこだわり続けた意地の賜物ではないか。

心からお祝い申し上げます。

NHK 報道ロシア担当デスク 高尾 潤

私事になりますが、私が天理大学から大阪外国語大学に移って、たしかすぐだったと思いますが、ロシア語専攻の留学担当になって、学生への留学説明会に、JIC の方に出席していただくことになりました。それ以来のお付き合いということになります。それから 7-8 年、どれほど大阪外大の学生たちは JIC さんにお世話になったでしょう。いや、学生だけでなく、私個人もロシアへの出張旅行では、今もお世話になっています。

ただ、残念ながら、その大阪外国語大学は今年の秋に大阪大学と統合し、80 年の歴史を終えました。でも、大阪大学の外国語学部ロシア語専攻はまだ存続しています。規模こそ小さくなりますが、留学の必要性は減るどころか、ますます高まると私は思っています。どうぞ、JIC さんには、阪大の学生にもこれまで同様ロシアとのパイプ役を果たしていただきますようお願い申し上げます。現実にはロシアの物価高や、相変わらずのビザ制度など大変な面もあると思いますが、どうぞ末永く様々な「インフォメーション」をご提供いただけるよう切に願っております。「150 号」、おめでとうございます！

大阪大学大学院教授 堀江 新二

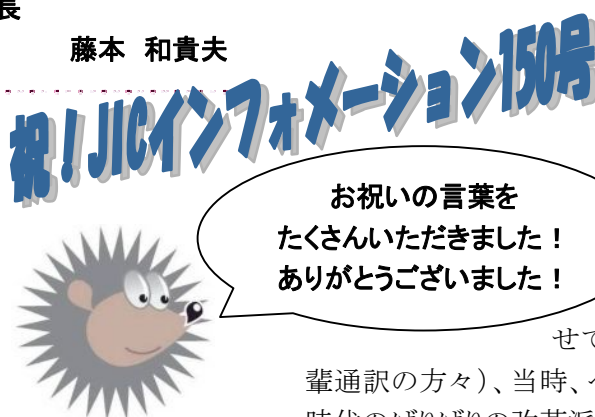
JIC インフォメーション 150 号、
おめでとうございます。

私が JIC にお世話になったのは、ほぼ 20 年前。かけだし通訳だった私は、国際親善交流センターの企画する講演会の講師として来日するロシア知識人の随行通訳などをさ

せていただき(もちろん、講演会は先輩通訳の方々)、当時、ペレストロイカからソ連崩壊直前の時代のばりばりの改革派学者だったガブリエル・ポポフ、ユーリイ・アフアナシエフの共産党を大胆に批判するスピーチなどを直接聞く機会を得、民営化、私的所有などのことばが初めて登場し飛びかっていたころのことをなつかしく思い出します。ナホトカ青年の船や 1992 年にウラジオストクが開放される直前の代表团でも、船内でのロシア語講座や陸上での行事の通訳をさせていただきました。

なにしろ元気で、やや向こう見ずな組織だった JIC は、時から、若い人たちのソ連ーロシア訪問や留学・交流の機会をたくさん提供してきたと思います。おばさんになった私ですが、若者気分でサバイバルなモスクワ短期留学を楽しんだのは、数年前。最近、ビザサポートや航空券で「ジェーアイシー旅行センター」のほうにお世話になることが多いのですが、こわいもの知らずの若者のエネルギーにハラハラし、感嘆しつつ、JIC インフォメーション、今も楽しみに拝見しています。

ロシア語会議通訳者 柴田 友子



歴代編集長より♪

私は、確か(あまり正確に覚えておりませんが)、1993 年頃から数年間、インフォメーションの「一部の号」をつくっておりました。「一部の号」とは、そのような昔のインフォメーションをお読みくださったご記憶の方には、さらに記憶の片隅に「ミルチェ」という名前の号が幾度か存在していたことを思い出してくだされば幸いです。当初、雑誌づくりもまったくわからないメンバーが集まって、相談しながら作業を進めました。そのため内容に関する合意に至るまでの時間のかかること、かかること。そしてさらに作業(要するに執筆や取材、原稿作成など)に入ってから遅いこと遅いこと。しかしそうしながらも、作り手も楽しみながら毎号作っていたことを思い出します。

「ミルチェ」という言葉は、ロシア語の「ミールチェーセン＝世間は狭い」という言葉からつくりました。ロシア関連の仕事をしているとその世界の狭さに驚くことがあります。あちらこちらに知り合いがいるのです。ロシアに出張しても必ず知人に会いました。そう言う意味での「狭い」もありますが、日本とロシアの距離が狭まって、交流が盛んになればよい、という意味も私たちはこの言葉に込めました。

当時は現地の「ナマ」の生活情報や、留学準備、留学後の進路、留学経験者の経験談、仕事への生かし方など、留学を希望する人が何よりも知りたいだろうと思うようなことが決定的に不足していました。今やインターネットでさまざまな情報を得ることができ、「ナマの情報」という言葉自体が意味を失ってしまいました。たった 15 年ほど前のことですが、隔世の感があります。「ミルチェ」はそのようなロシア語学習者、留学を希望する人たちにロシアの情報を伝えたいという思いと、ロシアを好きになって欲しいと思って作られていました。その意味で、「ミルチェ」と JIC の留学事業は両輪の輪と言えます。

そのため、JIC の留学 OB の方々でロシア関係の仕事に就いている方に話を聞きに行ったり、ロシア語を生かしてどんな仕事があるのかを紹介したり、ロシアの新聞記事の中からおもしろそうな内容をピックアップして紹介したりもしました。記事を作るにあたって取材に応じてくださった方々との出会いは、私たち自身にとっても大きな意義がありました。職業はそれぞれ違っていても、みなロシアやロシア語への愛情を持ち、さらに現在も日本とロシアの架け橋になるべくそれぞれが歩まれています。

現在、対ロシアビジネスも活発化し、人々の往来も増えました。私たちが「ミルチェ」を通して知り合った人たち、そして読んでくださった方々が、今日露関係の仕事や交流の中で、一人でも多くご活躍されていることを願い、私たちの雑誌が微力でも一助になればと願っています。

中子 富貴子(ミルチェ初代編集長)

1994 年から 2005 年にかけて編集を担当させていただきました。早いものでもう 150 号ですか、「継続は力なり」とはいますが、ここまで続けてこられて大変嬉しく思います。記事を書いていただいた皆様、取材に応じていただいた皆様、本当にありがとうございました。

私が編集を始めた頃は万年記事不足で、ペンネームで自分自身のロシア滞在記を連載しておりました。ペンパルコーナーも空白を埋めるための苦肉の策として生まれたものでしたが、多くの読者が本紙でペンパルを見つけ旧ソ連の人たちと交流されていると伺い、嬉しく思ったものです。

また、現在の JIC のスタッフの多くが、JIC インフォメーションや交流活動に魅力を感じ入社してきたという事実もあります。記事を集め、編集、印刷、発送、という手間とお金のかかることをやってきましたが、良い人材が集まってくれるという嬉しいおつりもありました(手前味噌で申し訳ないです!!)。

現在はインターネットで必要な情報が手に入る時代になりましたが、JIC 独自で面白い情報を集め、ふるいにかけ、読者の皆様に役立つ情報を発信し続けていければと思います。これからも JIC インフォメーションを応援してください!

三宅 まゆみ(ミルチェ関西版編集長)

お知らせ



JIC インフォメーションの電子化について

日頃は JIC インフォメーションをご愛読いただきありがとうございます。JIC インフォメーションはおかげさまで 150 号を迎えました。これからもロシアに関連した情報を発信し続けていきますのでよろしくお願いいたします。

前号からご案内している通り、電子版インフォメーションの発行を進めたいと考えています。具体的にはメールアドレスをご連絡いただければ、PDF 形式でダウンロードできるように毎号発行時に案内メールをお送りいたします。

本年 9 月 10 日発行予定の第 152 号からメールでの送付を本格的に開始する予定です。ご希望の方は、E-mail アドレス「jictokyo@jic-web.co.jp」にご連絡ください。件名を「インフォメーション」とし、①お名前、②ご住所、③お電話番号、④メールアドレス に電子版インフォメーション希望の旨を書き添えてお送りください。よろしくお願いいたします。



JICのロシア語講座

2008年4月開講



★4月5日より順次開講★

入門(火曜 19:00～20:30) 4/8 より開講

初心者の方を対象にアルファベットから始めて 1 年間かけてロシア語文法を勉強します。4 月開講の通年コースです。

初級(月曜 19:00～20:30) 4/7 より開講

ロシア語のやさしい読み物を読みながら、ロシア語やロシア語での会話に慣れていくクラスです。

中級(水曜 19:00～20:30) 4/9 より開講

文法の教科書を使って、身近な出来事などを題材に、ロシア語の表現力を高めていきます。

文学講読(木曜 19:00～20:30) 4/10 より開講

小説を中心に読んでいきます。文学作品はロシア語表現の宝庫、楽しみながら語学力をアップさせましょう。学習歴 3 年程度以上のロシア語力の方対象。

時事会話(金曜 19:00～20:30) 4/11 より開講

新聞、ニュース、物語などを読みながら語彙力を高め、文法も確認します。ロシア語でコミュニケーションのとれる方対象。

使える会話①(土曜 10:45～12:15) 4/5 より開講

ビデオを用いてモスクワやペテルブルグの街をめぐりながら、街歩きでよく使うロシア語を勉強しましょう。上級の方対象。

使える会話②(土曜 12:30～14:00) 4/5 より開講

ビデオを用いてモスクワやペテルブルグの街をめぐりながら、街歩きでよく使うロシア語を勉強しましょう。初～中級の方対象。

<期間> 4 月 5 日(土)～ 全 18 回

途中、GW 期間・夏休みは休講となります。

<定員> 1 クラス 4～8 名程度

<受講料> 54,000 円(18 回)

複数講座同時受講割引あり

<会場> 国際親善交流センター(JIC) 東京 会議室
(東京・四谷)

<お問合せ> JIC 東京オフィス

TEL: 03-3355-7287 E-mail: jictokyo@jic-web.co.jp

東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル 7F

★4月14日より順次開講★

入門(火曜 19:00～20:30) 4/15 より開講

ロシア語の最初の一步、アルファベットからスタートします。ロシア語の文字って難しそう? そんなことはありません。独学では前に進めない方、ぜひご参加ください。

初級(木曜 19:00～20:30) 4/17 より開講

あいさつや身の回りの単語が身についてきたら、単語だけでなく文章で話せるようにステップアップしましょう。文法も一通り勉強します。

中級(金曜 19:00～20:30) 4/18 より開講

基本文法が一通り身についたら、会話のバリエーションを増やしていきましょう。ロシア語のやさしい読み物を使って語彙を増やし、ロシア語の表現力に自信をつけましょう。

上級(月曜 19:00～20:30) 4/14 より開講

身についたロシア語を忘れないよう、会話を中心に授業を進めます。自分の意見がロシア語で表現できるよう訓練していきます。留学経験者にもおススメ。

<期間> 4 月 14 日(月)～ 全 15 回

途中、GW 期間・夏休みは休講となります。

<定員> 1 クラス 5～10 名程度

<受講料> 35,000 円(15 回)

複数講座同時受講割引あり

<会場> 国際親善交流センター(JIC) 大阪 会議室
(大阪・天満橋)

<お問合せ> JIC 大阪オフィス

TEL: 06-6944-2315 E-mail: jicosaka@jic-web.co.jp

大阪府大阪市中央区谷町 2-1-22

フェアステージ大手前ビル 5F

スケジュール等の詳細は資料をご請求下さい。

見学もしていただけます。ぜひ自分にピッタリのクラスで学びましょう。

レベルなどの相談はお気軽に!

<注> 定員に満たないクラスは開講されない場合があります。



JIC ロシア語セミナー報告 「ロシア語を勉強する君へ」

上智大学 徳永晴美教授

2007 年 11 月 17 日(土)、上智大学の徳永晴美教授を講師に、JIC ロシア語セミナーを開催しました。徳永先生はロシア語同時通訳のパイオニアとして知られています。今回はその講演の後編をご紹介します。



無自覚な留学の危険性について

留学したということの意味はどこにあるかという、こういう音の違いをマスターした人もいるし、全くその **вечер** と **ветер** は発音が同じであると言ってはばからない通訳者もやはり留学をした人です。というわけで無自覚な留学の危険性、これはもう当然無自覚であってはならない。つまり留学をしようという自覚はある、しかし何をむこうで体得しなきゃならないのかということに関しては、僕の今のお話を聞いた方々はかなりいい線进行くと思います。そうじゃない方はですね、単にむこうへ行って結局どういふかたちで帰ってくるかという、「こういうこと言いたかったらロシア語でどう言うんだい？」と聞くと、スラスラと言うんですが、「それ教科書に載せられるか？ 載せてもいいのか？」と言うと、「いや、それは知らない。私はこう言ってるだけだ。これで通じる」と。つまり、これで通じるという方法を習得してきたにすぎません。絶対にこういうものであるというものを覚えて帰ってきてるわけじゃない。単に、自分なりに流暢に言って、相手の言うことは大体わかる、日常生活で困らない、そのくらいで帰



ってきます。我々やはりこういう時にはこういう風に言うんだ、ということ、それを厳格に覚えていく必要があります。それから文法的にも、これはこう言う、なぜならばこうだということをどこかで意識して整理する時間をもたないかぎりには単に外見はペラペラでも、中身はヘラヘラという感じのロシア語にしかならないと思います。そういう意図的な学習というのは日本でもやれるはずなんです。ということは、留学しなくても、そういう意識さえ持てば日本でもかなりやれると言えます。また、留学中はなんとなくロシア語ができたつもりでおりますが、帰ってきて 3 ヶ月、半年も経つとあつという間に能力が落ちていきます。それはロシア語環境にどっぷりつかっていたために一杯になっていると思っていたザルを引き上げた途端、周りの環境がなくなって空っぽになってしまう、あの状態。就職活動をやったりする学生ですから、それどころじゃないというのも確かです。しかしながら一方で、獲得したものを維持するためには日本でやらなきゃいけないという現実が待っています。それを自分でどうするか、という戦略までちゃんと立てないかぎりには留学のありがた味はあまりありませんね。私はそう思います。現地でやれることは何かと考えた場合に、ただ漫然と生活者としてそこで時間を過ごすんじゃない、あれをやるべきだ、これをやるべきだという戦略が、やっぱり欲しいですね。

◆徳永先生の発音ワンポイントレッスン◆

アクセントのない「o」「a」

先日、ロシアへ行ったことのある学生が、「先生、チョコレートの発音を教えてください」っていうんですね。шоколад なのですが、どうもロシア人の発音は違うっていうんですよ。どう発音するのかといえ、これはシカラートゥ、シカラートゥ。シのあとには小さな「ウイ」がある感じで発音します。万国音標文字では、曖昧母音「ə」というものです。力点から前に数えて一番目、二番目の o と a は曖昧母音になります。シカラット、シカラット([ʃəkəlat])ですね。だからロシア人はシヤカラットとは言わない。ш の後の母音はないと思ってもかまわないぐらいに発音[シカラートゥ]します。

なぜこういう現象が起こるかという、ロシア語の一つの法則性です。力点の手前一番目、二番目の o と a、これは曖昧母音化するという法則がある。例えば разговор という単語、その最初のラズ(раз-)のところは、こんな音です、ルズ([rəz-])、ルズ([rəz-])、ルズガボール([rəzgavór])となります。

能力を維持する努力

それから留学を終えた後に維持する能力、つまりそこから、骨格をもらっただけですから後は肉をつけなければなりません。それは自国、母国でやるよりほかないですね。そういう戦略を持たなければいけません。

私の場合は、実は私は留学時代ものすごいスピードでロシア語の速読ができました。ロシアの大学の文学部でロシア人学生たちと同じように「罪と罰」「戦争と平和」なんかでも読んでいかなきゃ授業にならないっていうんで懸命に読んで、それでもものすごい速読能力がついたんですが、ある時気がつくとも音が全く消えてるわけ、読む時に。その状態で日本に帰国したんですが、ロシア語の維持ということを考えた時に、心の中ででもきちんと音を出してイントネーションも使わない限りは、僕はその運用能力を維持できないと思った。

今度は読書の時に音を出し、イントネーションを出して読んだ。速度がすごく落ちた。で、どっちを取るかですよ。結局、速読という部分をあきらめてその代わり常にロシア語を使える状態にすることを選びました。ロシア語環境のない、話す相手もないし、NOVA でもやってない(笑)、そういう所で自分でどうするか、という時のことです。こういう作業を今もやっています。そういう努力がやっぱり必要でしょう。

何でもいい、例えば、何か一冊の雑誌あるいは新聞を手にしたら、できることがあります。例えば、サッカーについての記事がありますね、それを辞書ひいて読み通して単語帳を作る。そうするとサッカーに必要な用語の 7 割から 8 割はもうその記事に出ているんですね。あと 2、3 回サッカーの記事を読めば大体サッカーのロシア語はほとんどわかるという状態になります。サッカーに関する言葉、例えば「ゴールキーパー」だとか、それから「ネット」だとかそういうことの 7 割ぐらいが 1 回目に出てきて、それから続けて読んでいくとサッカーに関する単語がどんどんたまっていき、一つのテーマに関して物が言えるようになってきます。また、ペタッと貼ってすぐはがせるポストイットカードってありますね。それを家のあちこちに貼っていつかはどうでしょうか。例えばミルクだったらロシア語で何ていうかを書いて冷蔵庫のミルクに貼って、それから冷蔵庫そのものの扉に「冷蔵庫」と貼って、もういたるところにその単語を書いたカードを貼る、という作業をすることも有益ですね。

～最後に～

ですから皆さんは、やる気になれば、ここで私が紹介した

●徳永先生お勧め！ロシア語習得に役立つ参考書●

「日本案内(ロシア語版) ガイドテキスト」 ロシア語通訳協会

実は私は日本に帰って来た時にふと気がついたことがあります。ロシアで勉強してきたから、日本について語るロシア語は習ってなかったんですね。京都に行って「これが」って言った瞬間に「これは何だっけ」となってしまう。何をどう言えばいい？そういう、「日本人だけのロシア語」というのが別にあるっていうことに気がついた。日本の主な神社とか都市の説明とか、日本ガイドのためのロシア語が必要だと思いついた。「こちらがうちの専務取締役です」とか。日本語文化の世界を全然学ばずに帰国したわけですね。だから日本でやる勉強するのは全クゼロからやった。で、皆やるべきだと思ったので編集を始めたのが、この「日本案内 ガイドブック」。今、ロシア語通訳協会を出しております。亡くなった米原万里さんが私の後を引き受けて、増補改訂版を作ったのがこれです。北海道から、日光、京都、鎌倉、それから日本の国土、民族、歴史、教育、政治、経済、衣食住、スポーツ、伝統文化、宗教、ここまでを全部一応とりあえず、日本のことをこれで勉強できると、で案内もできるという本。ついでに、ロシア語も、身近なことを言うんだから身につつきやすいですね、ロシア語は。ああこういう単語を使えばいいんだ、こういう表現を使えばいいんだ、それが満載の本です。(「日本案内(ロシア語版)」は JIC でも扱っています。ご希望の方は JIC インバウンド部まで。)

◆徳永先生の発音ワンポイントレッスン◆

「с вами」(次の音を早めに準備)

「あなたとともに」、書くとき「с вами」。ここで面白い現象が見られます。ここでまた、活字から音を出しちゃいけないという一つの例が出てきます。実はこれは、この и(イ)という音、これをもうこの а(ア)のところで準備しておくんです、実は。このアという音は、この辺でイと連動していくわけです。どういうことか？普通に読んだらどう？一回読んで下さい。・・・それで実際はどうなっているか。日本人が普通に読んだ場合の音を出します、「ス ヴァミ」「ス ヴァミ」。ロシア人はどう言うか、「ス ヴァイミ」「ス ヴァイミ」。

じゃあ例えば「к вам」の中のこの「а」。いいですか、長く言いますよ、「ク ヴァーーム」。こっち(「с вами」)を発音します、「ス ヴァーイミ」、つまり м の後の и の音をここ(а の後ろの方)で準備するから小さなイの要素が入るわけです。

ような本[*前号と今号に分けて紹介しています]だけでもすでに通訳ガイドができるくらいの能力を持つことが日本で可能です。早稲田の露文科を出たある方が、なんと「ロシア語通訳読本」つまり僕と宇多先生が出した本一と、それから、昔、白水社から出ていた「ロシア語会話帳」かな？その二つを懸命に暗記して今や、もうすでにガイド、通訳としてお金を取る仕事に就いてます。というわけで留学もしていないのにそこまでいった人もいます。いい参考書さえあればマスターは可能だというふうに私は思うんですね。

「ロシア語通訳教本」

宇多文雄/徳永晴美(著) 日本放送出版協会

敬愛する上智大教授の宇多文雄氏がついに最近、東洋書店から「ロシア語通訳教本」というのを出しました。これもいい本です。その前に僕と彼が書き上げたのが「ロシア語通訳読本」。僕は「ロシア語通訳コミュニケーション教本」*というのを出したから、その間をとって、彼が出したのが「ロシア語通訳教本」になったわけです。
(*出版元のナウカが倒産したため、インターネット上で 2,800 円が 1 万円まで値が上がっていました。現在絶版になっています。)

◆新刊情報◆

初級のロシア語の参考書はいっぱいありますが、その後一挙にロシア文学の本とかなんとなかになんて、中級レベルの文法の教科書はあんまりないですね。というわけで、宇多文雄氏が今、中級のロシア語の文法書を書き上げつつあります。これはもうすぐまた、東洋書店から出ます。これは乞うご期待ですね。これは我が国で、今までで一番詳しくかつ正しく、明快な本となることが、恐らく間違いないと思います。なぜならば今までの一番いい、我が国の文法書などを彼は全部眺望して、それを踏まえた上で作ってますので、それ以上のものが出来ます。これは二部構成で、第一部はもう出来上がっています。



畳の上で泳ぐ練習を何回やってみても、どのくらいの効果があるかということは、やはりプールに浸かってみないとわからないものです。そしてプールで泳いで自信をつけたら、今度は海で泳いでみたくなる。それを言語環境にあてはめれば、やはり留学したほうが良いでしょう。良いに決まっています。ただ、漫然たる留学はしないで欲しい、と私はそう思います。

高まるロシア語需要

それでついでに話しますが、ブリックス(BRICs)という言葉は皆さんもご存知だと思いますが、現在急激な成長を遂げているのがブラジル(B)、ロシア(R)、インド(I)、中国(C)の新興成長国です。中でもロシアは資源大国ですし、教育水準が高いので人的資源にも恵まれた有望株です。今、ロシア語通訳協会でメールがどんどん回っていますが、どういうメールかっていうと「何月何日から何月何日までガイドできる人急募!」。ものすごくたくさんのロシア人が今、観光なんかで来ているわけです。去年の二倍です、すでに。今年(2007 年)の夏ぐらいで、去年の通訳依頼の回数を達成しているという。したがって今年はまだ、通訳の依頼は二倍になっています、大変なことになっていますね。まだロシアは回復途上ですから、このロシアが力をつけてきたから、これはもうとてもじゃないけど我々、ロシア語の人口が足りない、わが国でロシア語を使える人口が足りないという状態になってしまう。それはもう目の前に見えています。

～終～



徳永先生による講演会の後には、実際に留学を考えている方や、JIC のロシア語講座について知りたいと思っている方に会場に残っていただき、JIC のスタッフによる JIC 留学の説明および個別相談の時間をつくりました。スライドを利用して JIC 留学の特徴を説明したり、どのようにして自分に合った研修スタイルを探していったらいいのかをお話したりしました。熱心にいろいろ質問してくださる参加者が多く、スタッフ一同「多くの方に充実したロシア留学を体験してもらいたい」「もっとロシア語講座でロシア語を勉強してもらいたい」との思いを強くしました。



今回参加できなかった方も JIC オフィスで個別相談を受け付けております。お気軽にご相談ください。また今後も毎年留学セミナーを開催していきたいと思っています。ぜひご参加ください!

JICモスクワ通信Vol.10

3月8日は何の日?



皆さん、ご存知かと思いますが、3月8日は国際婦人デー(女性の日:International Women's Day)という記念日でした。世界中の多くの国で祝われていますが、旧ソ連の国々では祝日となっており、お正月やクリスマスのように楽しくお祝いします。

祝日なので、その前日(3月7日)に男性は家族や友達、同僚の女性に花やチョコレートをプレゼントします。モスクワを歩いていると、地下鉄駅の入口、大きな市場でたくさんの花が売られているのが目につきます。花束を抱えた男性もたくさん目にします。もちろん一番人気は赤いバラですが、菊やチューリップ、ミモザもよく売れているようです。会社の場合は、可能な限り早く仕事を終え、午後の4時、5時あたりからパーティーをしたりします。大きな会社であれば、男性が女性のために詩を詠んだり、芸をしたりもするそうです。家族であれば、お母さん、お祖母さん、奥さん、お姉さん、妹さん、娘さんなどなど…。普段は掃除などしない男性も、この日は掃除をすすんで行います。

3月7日や8日は、お店に行くとお正月前のように大盛況、大行列です。ロシアをはじめとした旧ソ連の国々では、人々に愛されている祝日となっています。日本では残念ながら、この日はあまり認知されていないようです。女性の皆さんにとっては少し残念です。

(モスクワ トカチェンコ・ドミトリー)

テルミン・マトリョミン・学研テルミンミニの総合テキスト

テルミン学習帳

佐藤沙恵 著

1920 年にロシアで発明された世界初の電子楽器「テルミン」。テルミンはピアノやヴァイオリンのように音階を奏でることができる楽器です。この本では、不思議な楽器「テルミン」の演奏方法を基礎からやさしく解説していきます。

ぜひともテルミンの素晴らしさを体験してみてください。

練習に役立つ CD 付きです★

<発売中> 2,580 円(税抜き)

株式会社アスキー





ロシアの 地方劇場めぐり

後編



加藤 裕理

◆◆11 月 12 日◆◆ チェリャビンスク

「チャリャビンスク？どこ？」という方がほとんどでしょうし、私も劇場関係で何回か耳にした程度の街です。当然ド田舎なんだろうなあ、などと大変失礼なことを考えていたのですが、着いてビックリ、空港のように近代的な駅でした。設備も完璧です。エカテリンブルグから 5 時間ほどのところにある街なので到着したのは早朝、時差も同じモスクワ+2 時間です。かなり眠かったので、頭からダウンを被って、カバンを枕にして仮眠をとります。そんな無用心な、と思われるでしょうが、要は外国人と分かなければいいわけですし、貴重品は首から下げているパスポートとデジカメだけなので、まあ盗難に遭ってもいいか、と…(笑)。9 時前、そろそろ動き出そうかなと思ったのですが、向かいのショッピングモールの「-14℃」という表示を見てやる気をなくしたので、もう少し読書をして待ちます。実際街に出てみると、やはり小さな街だと実感します。基本的にインフラはちゃんと整備されているけれど、地図がなかなか見つからなかったり、バスの表示も不親切だったり、観光客なんてほとんど来ないんだろうと思いました。街中でデジカメを出すだけで目立ちます。まだまだ最新機器のようです。

ロシア国立チェリャビンスク・グリンカ記念劇場

“第 11 回グリンカ記念国際音楽コンクール ファイナル”

小さい街だけあって、主要施設であるコンサート・ホール、サーカス、オペラ劇場が全部徒歩圏内に固まっています。切符売場のおばちゃんの印象は最悪でしたが(笑)入ってみると内装も係の人みな暖かい雰囲気です。なによりもまず客席が人形の家みたいでとってもかわいい！

音楽のコンクールの決勝ということで、女性 7 人・男性 6 人がそれぞれ 2 曲ずつ歌います。個人的に印象深かったのはソプラノではカザフスタン出身のサルタナート・アフメトワ。とても透明感のある美しい声で、印象的なリュウのアリア(「トゥーランドット」より)でした。そしてメゾソプラノのオクサーナ・ヴォルコワが「う〜ん、華やか！」でした。黒のドレスでエボリの姫(「ドン・カルロス」より)を歌う彼女は、演技はバリバリ、角度もキメキメなのに失笑を誘わない



のは、やっぱりこの華やかさのなせる業でしょう。そして大トリ(単にエントリーナンバーの都合上ですが)のガッリ・アガジャニン(バス)の音量が圧倒的でした。

コンクールなのですが、生オーケストラで有名なアリアがたくさん聞けたし、ムラート・アンナマメドフの指揮が良くて、これで 30 ルーブリ(150 円弱)なら大満足です。ホクホクしながら劇場を後にしました。

今日の夜行列車— 見渡す限りおじさんおじさんでした。プラツカルトといっても基本的に構造はクペーと同じで、正方形の箱の中に 2 段ベッドが両脇ある、というのをまず想像してください。そしてクペーと違って仕切りがなくて、通路にもう 1 つ 2 段ベッドがある、という感じです。つまり 1 ブロック 6 人です。この通路側のベッドのおじさんが亀を飼ってて、一瞬目を疑いました。しかも 3 匹も。「あげないよ」と言われましたが、いやあ、頼まれてもいりません。そして私の隣は軍人さん(職業軍人ではなくて、兵役中の少年です)が、寝台に布団も引かず、軍服のまま爆睡していて感心しました。やっぱり軍にいと頑丈になるんでしょうか。

◆◆11 月 13 日◆◆ 移動日

今日は移動に終始した 1 日でした。05:00 前にエカテリンブルクに戻ってきて、14:33 にノヴォシビルスク行きの列車に乗りました。直前に切符を買ったので、こんな効率の悪いスケジュールです。ロシアでは綿密に計画を立てても大抵なし崩しにされるので、いっそ無計画なほうが楽なのですが、やっぱり多少の計画性は必要です。ともかく、エカテリンブルクからノヴォシビルスクまでは丸 1 日かかるので、到着は現地時間で 13:53 です。ようやく列車の旅という実感が湧いてきました。今までは全部夜行列車で、乗車したら寝ただけだったので、列車内で生活するというのは初めてです——と思ったんですが、旅先の疲れもあったので爆睡してしまいました。

チュメニ駅で晩御飯を調達します。駅のプラットホームには売り子さん(残念ながらおばちゃんばかりですよ)がいっぱいいるのでお店を探す必要はありません。適当にハンバーグと野菜・黒パンが彩りも味わいもなくパックにギューギュー詰められた挙句、新聞紙でくるまれたお弁当を 50 ルーブリで購入しました。味は至って普通です。この駅までは、同室がおばあちゃんと孫、私、若い男性だったのが、おばあちゃんと孫が下車して、代わりにお姉さま方が入れ替わりにご

登場です。ミスプリのダウンジャケット、シャネルのハンドバック、着替えるとヴェルサーチのパジャマ、などなどブランド物オンパレードです。そのバブリーな勢いのまま、若い男性を別のクペーに追いやり、女 4 人になります。気楽でいいし、「キャビアのペースト食べてみない？」と誘ってくれたり、チョココレートくれたりと、気前のよい方々でした。が、なんとなく後が怖かったので、キャビアだけはありがたく固辞させていただきました(笑)。

◆◆11 月 14 日◆◆ ノヴォシビルスク 1 日目

明るい時間にゆっくり車窓から風景を眺めるということをして初めてしました。やっぱりロシアは広いんだなあ、と今更ながらに思います。人口密度は限りなくゼロに近そうです。線路の脇が車道になっているのですが、30 分に 1 台すれ違うかどうか、というほどです。

そしていよいよノヴォシビルスクに到着です！モスクワ+3 時間、または日本時間-3 時間という場所にある都市です。この駅からは北京行きの列車も出ているせいか、やっとアジア人を見かけるようになりました。駅もきれいだし、地下鉄も 2 路線走ってるし、ロシア第 3 の人口を誇る都市というのも納得なのですが、ただ発展の度合いとしてはエカテリンブルクの方が上かな？という気もしますし、実際旅行してみると、両替所が少なく、どこのホテルに行っても取り付くしまなく「部屋ないわよ」だったり、閉鎖的な印象。観光客慣れしていないだけかもしれませんが。

ロシア国立ノヴォシビルスク劇場 “コッペリア”

舞台が異様に広いので群舞のアラは多少目立つものの、劇場というハード、衣装・装置すべてひっくるめた総合点でいくと、今回回った地方都市の中では一番よかったかなあ、という印象です。

主役のアンナ・ジャロワは、スタイルは良くないですが、その分コントロールがきいた快活そうな踊りで好印象。それにしてもワガママそうなスワニルダ(笑)。グリシェンコフはサポートが苦手な様子で正直頼りなかったですが、跳躍は勢いもあるし、元々フランクがおばかさんな役なので、まあご愛嬌という範疇です。

という感じでダンサーのレベルもあかぬけた雰囲気があったのかなのですが、例えばスワニルダの友人が 8 人というなんとも微妙な数字な上に、実力がバラバラのダンサーを並べて踊らせていてトータルで見るとスマートではない、というようにあちこち損をしているのがもったいないなあと思いました。

そして終演後、21:00 過ぎにまた駅に戻ってきます。この時点でまだ宿が決まっていません(笑)。モスクワやペテルブルクは 19:00 開演が一般的なのですが、カザン以东はなぜか 18:30 開演です。理由はわかりませんが、終演も早くな

るというのはこの状況では非常にありがたい。いざとなれば適当な寝台列車の切符を買えば済むのですが、たまにはやっぱり揺れない柔らかいベッドで休みたいです。うすうす、部屋はあるけど外国人だから門前払いなのかな？と思っていたので、駅構内のホテルに行って、就学ビザがあるので外国人登録は必要ない旨を伝えます。するとさっき「部屋がない」って言ったのに、「半日だけなら泊まれるわよ」と言われ、いつの間にか「丸一日で登録しとくわ」になっていました。宿さえ貸していただけるなら、これ以上は何も言うまい、といった心境です。

◆◆11 月 15 日◆◆ ノヴォシビルスク 2 日目

オムスクかクラスノヤルスクに行こうかなと思っていたのですが、それは諦めてひと休み、知り合いに会います。この日の宿は「帰りの列車の切符が売り切れで帰れない」と泣き落として、その駅構内のホテルに延泊します。実は 18 日の航空券があるので大嘘なんです(笑)。

◆◆11 月 16 日◆◆ ノヴォシビルスク 3 日目

ロシア国立ノヴォシビルスク劇場 “スペードの女王”

女性コーラスは繊細でいいと思います。普段聞いているマリインスキーのオペラは男性も女性も恐ろしいほどの迫力なので、女性らしくて癒されました。衣装・装置もゴージャスというほどではないですが、趣味がいいので「慎ましい」という印象。優しげといいますか、個人的にこういうのは好きです。この日は最廉席の 110 ルーブリ(500 円弱)で見ましたが、傾斜があるので観やすかったですし、わりとどこからでも観やすい構造だと思います。

女性ソリストも高水準で「おおっ」と思ったのですが、ゲルマンは出っ腹のおじさんでびっくりしました。オペラではよくあることとはいえ、肝心の歌もぼつとせず、「そりゃあカードの魔力を借りないとリーザをものにはできないよねー」と思わずにはいられなくて、逆に物語に説得力が生まれた格好です。

◆◆11 月 17 日◆◆ ノヴォシビルスク 4 日目

11:30、ついにチェックアウトします。就学ビザがあっても 72 時間以上ひとつの都市に滞在する場合は外国人登録が法律上必要になるのですが、外国人登録してくれるホテルは高いところばかりなので、面倒になって 17 日夜発のノヴォシビルスク〜タタールスカヤ駅の寝台列車の往復切符を購入します。駅にはタイムスケジュールを検索する端末もあるので(そこそこの規模の駅なら必ずあります)、その場で適当に決めました。ということで、あとは一回市外に出て滞在時間のカウンターをリセットすればよいだけなので、晴れ晴れした気分で市街の芸術関連の施設を一気に回ります(笑)。

音楽のレベルが高いと聞いていたのですが、確かにオペレッタ劇場、フィラルモーニアなど、外観からしてオツと思わせるところが多いです。その中でも一番の収穫は、ドラマ劇場“GLOBE THE NOVOSIVIRSK ACADEMIC YOUTH THEATRE”でしょう

か。実際行ってみると近代的な劇場でまず人目を引きましますし、チケット売り場に行ってみると、ポスターや公演予定表からマネージメント



の確かさ、公演水準の高さが伺えるので、もし今度この都市に行くときは、是非観にいかうと思います。

ロシア国立ノヴォシビルスク劇場

“フォーキン・バレエのタベ”

世界的なダンサーで、昨シーズンからこの劇場の芸術監督を務めているゼレンスキーが“シェヘラザード”を踊るということで行ってみました。考えることはみんな一緒なのか、観客がまばらだった昨日とはうって変わって 9 割以上の客の入りです(笑)。

“ショピニアーナ”ではマズルカを踊ったクリスチーナ・スタロスチナの跳躍がとても軽やかで印象的です。ロマン・ポルコブニクはあまりにも少年らしすぎて、この役に必要な浮世離れした雰囲気は足りなかったのですが、ソロもサポートもソツなくこなしていました。第 2 部は“韃靼人の踊り”だけなので 15 分程度。あっという間でした。男性ソリストのマクシム・グリシェンコフがパワフルでよかったです。メイクと衣装、もうちょっとかっこよくしてあげて…。ついでに女性陣の衣装も…」と心の底から強く思いました。そして最後は“シェヘラザード”です。ゾベイダのナタリア・エルショワはポーズもいいポジション研究しました、という感じで健闘していましたが、もうちょっと自然なお色気が欲しかったです。ゼレンスキーに関しては、地方都市に突然世界の横綱級が登場した形なので、バレエファンとしていいものを観たなあと思直に思いました。

◆◆11 月 18 日◆◆ サントペテルブルグへ

朝 06:15、タタールスカヤ駅に到着です。こぢんまりしていかわいらしい駅ですが、ちゃんと休憩所(仮眠室)もシャワーもあります。今までそれなりの規模の街しか行ったことがなかったので、これはこれで貴重な体験をしたなと思いました。待合室は木の温もりがあって、居心地がよかったです。そして、08:14 にまた列車に乗ります。普通、列車に乗るときは、自分の乗る車両の乗務員さんにチケットとパスポートを見せないと通してくれないのですが、今回は停車時間 1 分

程度ということで「どの車両でもいいから早く乗れ！」と急がされ、慌しい乗車になりました。そして 14:48 にノヴォシビルスクに戻ってきます。ここには空港が 2 つあるのですが、どちらの空港か分からなかったのも、とりあえずは規模が大きいタルマチェヴォ空港へ。駅前から 50 ルーブルの直通バスがでています。

やっぱりペテルブルクに戻ってくるとホッとします。この 12 日間、「絶対に盗難に遭う可能性がない時間」は一切なかったのも、なんだかんだで緊張していたんだなあと思直してから実感しました。

旅行全体を通じて

なんと言っても、バレエが好きで今回この旅行を決行したようなものなので、まずバレエについてですが、男性の方がレベルの差が露骨に表れると実感しました。女性ソリストに関しては、ペルミ、エカテリナブルク、ノヴォシビルスクと、どの都市を比べてもそれほど差はありませんが、地方で「王子様」を見つけるのはとても難しいです。世界最高峰といわれるサントペテルブルクのワガノワ・バレエ・アカデミーでさえ、才能ある少年を数多く確保するのは難しくなっているそうですから、地方は推して知るべしなのかもしれません。また、才能ある卒業生はどんどん中心都市、または海外へ流れて行ってしまうそうですから、当分地方都市にとっては厳しい時代が続くそうです。

ですが、全般に芸術施設というハコに関しては、地方であっても全く見劣りはしません。もちろん中身のほうは格差を感じずにはいられませんでした。モスクワやサント・ペテルブルクのチケット価格が実力以上に膨張している昨今、中心都市で 1000 ルーブリ以上払って「???」というのを見るよりは、300 ルーブリくらいでそこそこの公演が見られるなら、それはそれでいいのかなという気がします。地方ですからカンパニー数はそう多くないので、どれを見ようか迷うことがないのも「クラシック」への敷居を低くさせる強みの一つであると思います。

ですから、「クラシック芸術に興味はあるけど楽しめるかはちょっと自信がない」という方は、まずは地方都市で気軽にデビューしてみてもいいかながでしょうか。

～終～



JICは頑張る人を応援します!

旧ソ連関係のイベント案内掲載をご希望の方は JIC までご相談ください。イベント時期の約 2 ヶ月前に情報をお送りください。JIC インフォメーションの発行は、1・2・4・6・9・11 月の 6 回となります。

掲載内容が JIC の活動に合わない場合はお断りする場合がありますのでご了承ください。

ロシア (旧ソ連) からペンパル募集!

お友達を作ろう!!

①Name ②Sex ③Born ④Address ⑤E-mail ⑥Hobby ⑦Languages

① **Shevchenko Anastasiya** ②Female ③18years old ④Russia, Moscow ⑤ arvenchik@rambler.ru ⑥ Profession: student of the Russian State University for the Humanities, studying history of arts. Hobby: travel, singing, dance, playing the piano, drawing manga

① **Stelyuk Anton** ② Male ③ 1978 ④ Ukraine, Kiev ⑤ astelyuk@gmail.ru ⑥ Profession: teacher, Hobby: travel, photo, computer ⑦Russian, English, German, Japanese

① **Natasha** ②Female ③20 years old ④Russia, Moscow ⑤ fenias313@rambler.ru ⑥I'm a student. I like music, sports, movie, art ⑦Russian, English a little

① **Kuzminskaya Margarita Valentinovna** ②Female ③1960 ④Russia, Moscow ⑤8880@post.ru ⑥I'm artist. I like classical music, photo, theater, literature, philosophy, history, religion, Japanese tradition and culture ⑦Russian, English

① **Scholychev Alexander** ② Male ③ 1989 ④ Russia, St.Petersburg ⑤ arr0wflight@mail.ru ⑥ reading, drawing, listening music, watching anime ⑦Russian, English, a little bit Japanese

① **Zabolotnova Svetlana** ② Female ③ 1969 ④ Russia, Moscow ⑤szl1@rambler.ru ⑥Japan ⑦Russian

① **Peshekhonov Denis** ②Male ③1984 ④Russia, Norilsk ⑤ panama08@mail.ru ⑥I work as a engineer. Hobby: playing the guitar, Japanese anime, drawing manga ⑦Russian, a little bit English

① **Ustyan Gamlet** ②Male ③1984 ④Russia, Sochi ⑤ estima84@mail.ru ⑥ car, engineering, music ⑦ English, Russian

① **Kattai Marina** ② Female ③ 1989 ④ Estonia, Kokhtla-Yarve ⑤ ot4ajanaja@inbox.ru ⑥ reading, manga, anime, culture, travel, drawing ⑦Russian, English

① **Maksimochkin Aleksei** ②Male ③1988 ④Russia, Permi ⑤ perm.cry@gmail.ru ⑥I'm student of University of engineering science. Hobby: Electricity, photo, music ⑦ Russian, English, Japanese

① **Golukhov Anton** ②Male ③1988 ④Russia, Moscow ⑤ elrosthgreat@gmail.ru ⑥ Literature, music, cinema,

culture and history of Japan, history of Spain, sports, wandering all over the world, photography, honor, girls ⑦ English, French

① **Pavel Sashenkov** ② Male ③ 1987 ④ Russia, Nizhny Novgorod city ⑤ klinez@rambler.ru ⑥ Everything ⑦ Russian, a little bit Japanese

① **Oleg Sleptsov** ②Male ③1990 ④Russia, Ryazan city ⑤ katashy1@yandex.ru ⑥music, anime, history, fencing ⑦ Russian, English, Japanese

① **Andrey Puchkov** ②Male ③1984 ④Russia, Perm city ⑤puchkovaa@gmail.com ⑥History of Japan and Russia, study Japanese language, cinema ⑦Russian, French

① **Ilona Rahmanova** ②Female ③19 years old ④Russia ⑤ r.ilonochka@gmail.com ⑥I am musician. My hobby: cinema, language, music, literature, different countries and their culture. I am study Japanese and want to have Japanese penpal. I like Japanese culture and history! I am waiting for your message! ⑦Russian, English, a little Japanese and Esperanto

① **Sofia Svetitelenko** ② Female ③ 1991 ④ Russia, Voronezh ⑤ fallen_angel666_@mail.ru ⑥ I like Japan, Japanese culture, and language so much. I love J-rock, anime. I just began to study Japanese. ⑦Russian

① **Kseniya Shigurova** ②Female ③1991 ④Russia, Moscow ⑤ InfernalDoll@yandex.ru ⑥ fine art, visiting museums, religion, music, reading ⑦English, Russian

① **Ivan Zolotaryov** ② Male ③ 20years old ④ Russia, Hovokuznetsk city ⑤ kerr@zaoproxy.ru ⑥ Profession: student of University. Hobby: sport, fine art, pet, music, travel, exchange ⑦Russian, English

① **Denis Zarubin** ②Male ③19 years old ④Russia, Kursk city ⑤orion-589@yandex.ru, orion-589@mail.ru ⑥I am a university student(programmer), for 9 years I'm engaged in a choreography and karate, I read a lot. ⑦Russian, English, German

① **Maria Pozdnyakova** ②female ③20years old ④Russia, Kemerovo city ⑤ marie-kem1@yandex.ru ⑥ Profession: student Hobbies: Theatre, language, internet, music, communication with different people, Russian culture, Japanese culture ⑦Russian, English, French

① **Sergei Zagorodny** ②Male ③1969 ④Russia, Gelenzhik ⑤ seabluz@yandex.ru ⑥ computer ⑦ Russian, English, Japanese

① **Yuliya Lebedeva** ②Female ③1985 ④Russia, Kemerovo ⑤ lebedevay@gmail.com ⑥ music, cinema, literature ⑦Russian, English, German



ロシア文化フェスティバル2008 IN JAPAN

2006年、2007年に引き続き、今年もロシア文化フェスティバルが開催されます。日本各地で様々なプログラムが行われる予定になっています。ロシア文化に触れることのできるチャンスです！ぜひこの機会にお楽しみください。



◆◆プログラム(予定)◆◆

- *オープニング・ボリショイサーカス
7月19日 東京体育館ほか全国18都市で
- *トルストイ生誕180年記念映画祭
7月20日～25日 おりべホール(予定)
作品＝「戦争と平和」「アンナカレーニナ」他
- *トルストイ名画コスチューム&ポスター展
- *ウラジミール・トルストイ講演会
7月20～27日
- *ロシア民芸品&衣装展
7月24～29日 北青山・ギャラリー・コンセプト21
- *ロシア天才少年少女コンサート
9月15～22日 東京・千葉・埼玉・清水 他
- *全日本ロシア語コンクール
- *シューキン名称国立演劇大学公演
6月21～27日 シアターX・大学・劇団
- *室内楽オーケストラ(ムジカ・ビーヴァ)
- *ワガノワバレエのマスタークラス
東京・栃木・兵庫・静岡・広島 他

*ロシア版画展

7月1～7日 国際交流基金展示場(予定)

*ポップスコンサート(10代ボーカルグループライブ)

9月5～10日 東京・大阪 他

*音楽マスタークラス(バラライカ・ドムラ)

10月 東京・神奈川 他

*ワガノワバレエアカデミー公演

7月5日～8月4日 福山・呉・栃木・仙台・新潟 他

*ロシア文化人講演会(マイヤ・コバヒゼ氏)7月23～25日

*モスクワ市近代美術館・アバンギャルド展

7月 東京・大阪・岐阜・埼玉

*日ロ有識者円卓会議

*サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団

*コンスタンチン・リフシツ・ピアノコンサート

*モスクワ国立音楽院室内合唱団

11月15～24日 東京・横浜・埼玉・千葉 他

*ボリショイバレエ公演

*北オセチア・アラニア共和国国立アカデミー民族友好勲章舞踊アンサンブル「アラン」

9月27日～10月3日 東京・埼玉・千葉・横浜 他

*ロシア文化フェスティバル観光・物産フェア

*ロシア絵画展

*ロシア国立世界海洋博物館所蔵品展

*ロシア語週間

*ロシアアニメーション・フェスティバル



etc...

Японский Язык

Краткосрочные курсы в центре Токио
Преподавание на русском языке



★ロシア人のための日本語講座 2008年度前期★

<入門クラス> 12:30 - 14:00

1年間で簡単な日常会話、ひらがな、カタカナ、漢字100字程度をマスターします。

<初級クラス> 14:30 - 16:00

1年間で JLPT 日本語能力検定4級を目指します。

<中級クラス> 16:30 - 18:00

1年間で JLPT 日本語能力検定3級を目指します。

日 程:4月18日(金)より週2回(火、金) 全23回

日本の祝日、GW期間はお休みとなります。

受講料:各クラス69,000円

会 場:国際親善交流センター(JIC)東京 会議室

За дополнительной информацией обращаться :

TEL:03-3355-7294

E-mail:jictokyo@jic-web.co.jp

JICロシアフェア 大阪

毎年恒例、大好評の JIC ロシアフェアですが、この夏の予定が決まりました！今年は5月25日(日)に開催します。在阪のロシア人(旧ソ連圏の方々)やロシアファンの日本人がたくさん集まるパーティーです。この機会にお友達を作ったり、情報交換をしてみたりするのはいかがですか？持ち寄り式のパーティーですので、お1人一品(食べ物・飲み物など)をお持ちください。会場には調理室もありますので温めたり盛りつけたりできます。ぜひお気軽にご参加ください！



日 時:5月25日(日) 13:00 - 17:00

会 場:ドーンセンター(大阪・天満橋)

参加費:お一人様1,000円

(当日受付にてお支払い下さい)

お申し込み:5月23日(金)までに、JIC 大阪まで。

TEL:06-6944-2315 FAX:06-6944-2318

E-mail:jicosaka@jic-web.co.jp

モスクワ旅行博に今年も行ってきました!

-日本ブームで盛り上がるロシア-

3 月 15-18 日モスクワで開催された旅行博(ITM)に今年も行ってきました。JATA(日本旅行業協会)や他の旅行社と共同で日本ブースに出展し、「Visit Japan! Yokoso Japan!」と大いに日本への観光旅行を売り込んできました。

今、ロシアはちょっとした『日本ブーム』です。中でも「健康に良い」と評判の日本食レストランはモスクワ市内にすでに 300 軒以上。ごく普通のレストランで日本食の看板を出してなくても、メニューには必ず「スシ」や「ヤキトリ」が入っているのが当たり前になってきました。そうそう、ITM の展示会場内の大食堂にも、ロシア風のソーセージやポテトフライなどと並んで「巻きズシ」のパックが置いてありましたよ。

ロシア人は本好きですが、文学作品では村上春樹、吉本ばなな、島田雅彦などの翻訳本が人気を集め、阿部公房や川端康成、江戸川乱歩、司馬遼太郎などもよく読まれています。さらにさらに、若い人たちの間では日本のアニメも大人気。彼らはインターネットを通じて情報を交換し、数千のサークルを作って「おたく文化」を競い合っています。ロシア人にとって、もはや日本は「性能の良い自動車と電気製品の国」だけではないのです。

しかも、エネルギーバブルに沸くロシア経済は好調そのもの。リッチでわがままなロシア人だけでなく普通のロシア人が日本ブームに惹かれてたくさん日本旅行に来てくれるのを、JIC としても期待して待っているところです。

(JIC 東京 伏田 昌義)

ロシアンフェスタ 東京

ロシア連邦外務省付属ロシア国際文化科学協力センターとの共催で行っているロシアンフェスタ。大使館付属学校の生徒さんのステージを楽しんだり、ロシアの人々と交流したりと、楽しみ方はいろいろ!この機会にロシア仲間を見つけませんか?この夏ロシア旅行・ロシア語研修を検討している方は、JIC スタッフによる相談コーナーへ。興味を持ったらずひご参加ください!

日時:5 月 17 日(土) 13:30~

会場:在日ロシア大使館付属学校(東京 港区麻布台)

参加費:一般 1,000 円 J クラブ会員 800 円

お申込み:メール、電話、FAX でお名前(ふりがな)・ご住所・お電話番号・J クラブ会員/非会員の別・フェスタをどこでお知りになったか、を 5 月 12 日(月)までに JIC 東京までお知らせください。ただし定員になり次第締め切ります。メールでのお申し込みの場合、件名を【フェスタ】としてください。

メールアドレスのある方はお知らせください。お申込頂いた方には、1 週間前をめどに参加確認のはがき、また



は E メールをお送りします。当日ははがきまたはプリントアウトした E メールを受付で提示していただきます。よろしくお願いいたします。

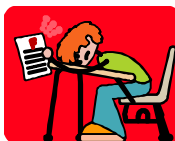
第7回札幌大学ロシア語弁論コンクール & ロシア政府認定 ロシア語検定試験

日時:2008 年 6 月 28 日(土) 13:00~

場所:札幌大学キャンパス内

応募締切:2008 年 6 月 13 日(金) 必着

参加料:無料



学校や大学でロシア語を学ぶ人をはじめ、生涯学習としてロシア語を学んでいる社会人など、ロシア語能力の向上を目指す方々を、札幌大学内外から広く募集している全国規模のロシア語弁論コンクールです。

試験日:2008 年 11 月 8 日(土)~9 日(日)

場所:札幌大学キャンパス内

願書受付期間:2008 年 9 月 1 日(月)~

10 月 17 日(金) 必着

受験料:未定(ロシアの試験本部より通達があり次第決定)

「ロシア語検定試験」はロシア政府に公認され、全世界で行われている検定試験です。願書は札幌大学ロシア語学科の HP(<http://www.sapporo-u.ca.jp/gaigo/>)からダウンロードまたは下記お問合せ先にご請求下さい。

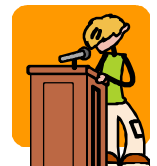
◆お申込み・お問合せ◆

〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3 番 1 号 札幌大学学生支援オフィス外国語学部

TEL:011-852-1181 (担当:丹野 tanno-s@ofc.sapporo-u.ac.jp、藤本 jun-f@ofc.sapporo-u.ca.jp)

弁論コンクール担当教員:高橋健一郎 (E-mail:takaken@sapporo-u.ac.jp)

ロシア語検定試験担当教員:鈴木淳一 (E-mail:j-suzuki@sapporo-u.ca.jp)



◆◆編集後記◆◆

4~6月の予定



4月 2日(水)JIC 長期留学生

サンクトペテルブルグ大学へ出発

4月 5日(土)JIC 東京 ロシア語講座 前期スタート!

4月 6日(日)JIC 長期留学生

ウラジオストク極東大学へ出発

4月14日(月)JIC 大阪 ロシア語講座 前期スタート!

4月18日(金)JIC 東京 日本語講座 前期スタート!

5月17日(土)第11回 ロシアンフェスタ(ロシア大使館)

5月25日(日)JIC 大阪 ロシアフェア

6月14日(土)長期留学9月生 募集締め切り

最新情報は JIC のホームページに

随時掲載いたします。ご確認ください!

長年にわたってロシア・旧ソ連地域の情報を発信し続けている JIC インフォメーションも、区切りの 150 号を迎えました。私が JIC でお仕事を始めてからまだ 3 年と少しですが、入社以来、ずっとインフォメーションの編集をさせていただいております。編集に関わり続けてはや 20 号。150 分の 20...。多様な少ないような?

編集していて時々行き詰ったりすることありますが、皆様が毎号読んでくださっていることが励みになっています。これからも興味深く、皆様のニーズに合った記事をたくさんご紹介していけたら、と思っています。しかしそのためには皆様からの情報提供も欠かせません。ぜひご意見、ご感想、ロシア・旧ソ連関係の記事やイベント情報などを JIC までお知らせください。お待ちしております。そして目指すは 200 号です!

(JIC 大阪 小西章子)

JICのロシア語研修

ロシア長期留学9月生・募集中

【期間】2008年9月より10ヶ月

【締切】2008年6月15日

予定です!

モスクワ国立大学\$3870(授業料10ヶ月)

サクト・ペテルブルグ国立大学€2880(授業料10ヶ月)

ウラジオストク極東大学\$3040(授業料10ヶ月)

*上記の金額以外に別途、寮費、手配料、渡航費用、ビザ代金及び取得手数料などがかかります。



ロシア語個人研修(随時募集)

☆モスクワ・ダリパス社 1週間~4週間 (ホームステイ3食付)

☆モスクワ大学 3週間~長期 (大学寮1人部屋)

☆G&Rインターナショナル 1週間~長期

(ホームステイ2食付/大学寮2人部屋)

☆ペテルブルグ・パートナー社 (ホームステイ2食付)

☆ペテルブルグ大学 1ヶ月~長期

(大学寮1人部屋/2人部屋)

☆ウラジオストク極東大学 1週間~長期 (大学寮1人部屋)

☆ウラジオストク極東大学 1週間~1ヶ月 (ホームステイ2食付)

☆ビジット生活体験コース (ホームステイ3食付)

ロシア語グループ&個人研修(随時募集)

リデン&デンツ スイスの会社出資のロシア語学校。

個人・グループレッスン。モスクワとペテルブルグにあり、インターナショナルな雰囲気。初心者より上級者まで。2週間より可能。基本はホームステイ2食付。詳細はパンフレットをご覧ください。



デルジャーヴィン・インスティテュート

全ロシアプーシキン博物館の協力により設立された学校で、18世紀の建物内で授業が行われます。アットホームな雰囲気でお勧めです。グループレッスン、1週間より可能。基本はホームステイ2食付。詳細はパンフレットをご覧ください。



◆ロシア留学旅行相談(東京・大阪各カ所)◆

ロシア留学・旅行のお問合せ・ご相談に
応じます。お気軽にお越しください。

東京事務所 平日 10-18時 土曜 10-16時

大阪事務所 平日 10-18時 土曜(6-9月のみ) 10-16時

留学・研修各種パンフレットは JIC へ
ご請求ください。留学・旅行相談お気軽に!

~Jクラブ(JIC友の会)のご案内~

JICインフォメーションを年6回、またJICのイベント案内をもちろんお届けします。
ご希望の方には入会案内をお送りいたしますので、ご連絡ください。会費は無料です。
国際親善交流センター